28L10 チュービンゲン ヒップ オルソシス（ホンローゼン型）

取扱説明書

義肢装具士の方へ

本製品を安全にお取扱いいただくために、使用前に本取扱説明書をお読みください。また、必要な際に参照できるようお手元に保管してください。

装着者の方へ、装着方法、使用上の注意、お手入れ方法などをご案内ください。

使用目的

『28L10 チュービンゲン ヒップ オルソシス』先天性股脱用装具（ホンローゼン型）は、乳児の股関節形成不全の治療補助のために使用されます。

適応・用途

股関節の脱臼診断基準タイプⅡb（Graf の分類）に対する治療補助に使用します。
特定な適応の場合には、医師の診断を必ず受けてください。
股関節形成不全の保存療法には、股関節の 90 度以上の屈曲と適度な外転位状態を保持させることなどがあります。本製品は、この肢位を維持するために使用されます。2 本のビーズコードと連動した大腿支持部と肩ハーネスにより、股関節を屈曲位に保持します。外転用スライドバーを操作し、必要に応じて段階的に外転位調整ができます。

サイズの選択

本製品の選択は、乳児の身体サイズおよび年齢を参考に下記の 3 種のサイズより行います。

商品 No.	種類	規格	
		対象年齢	開脚時の足間隔
28L10=3	3	1 ヶ月	95～130mm
28L10=2	2	2～6 ヶ月	95～130mm
28L10=1	1	6～12 ヶ月	110～160mm

各サイズの確認は、外箱に記載されています。 また、肩ハーネスの上の刻印番号でも確認することができます。

構造および構成部品（図１）

構成部品（図①）

（1） 肩ハーネス（パイルカバー付）
（2） 面ファスナー（フックとループ）
（3） 前面ビーズコードロック（白）
（4） 後面ビーズコードロック（赤）
（5） ビーズコード
（6） 大腿支持部
（7） 大腿支持部のビーズコードロック（赤）
（8） 外転用スライドバー
（9） スライドバー調整クランプ

各ビーズコードロックは、「大腿支持部」（6）と「肩ハーネス」（1）とを連動する「ビーズコード」（5）を支えます。「肩ハーネス」（1）および「大腿支持部」（6）後面にある「後面ビーズコードロック（赤）」（4）と「大腿支持部のビーズコードロック（赤）」（7）は、最初の装着時に行う調整と装着期間中に行うビーズコードの長さ調整に操作、使用されます。「肩ハーネス」（1）前面の「前面ビーズコードロック（白）」（3）、「面ファスナー」（2）は、本体着用時または、着脱時の際に操作、使用されます。「スライドバー調整クランプ」（9）を解除すると、「外転用スライドバー」（8）は自由にスライドし、調整が行えます。

調整方法

注意！

必ず、スマイルマークが正面に向くように、正しい位置で「肩ハーネス」（1）を装着してください（乳児の胸側）

<調整手順>

◆ 初めて装着する際は、必ず医師・義肢装具士のもとで行ってください。

◆ 患者の保護者や家族の方々も、本体の装着方法については必ず説明、指導を受けてください。 未開封の時点でビーズコードの長さは前後左右均等に設定されています。ビーズコードの長さを調整する際に、面ファスナーのフックとループが乳児の首に近づき過ぎないよう確認することが重要です。 このようなことから、ビーズコードを上後面範囲では開放状態にしておくことが望ましいです。また前面、後面のビーズコードは均等な張りを持たせることが必要です。

1） 本製品の装着と脱着については、「前面ビーズコードロック（白）」（3）と「肩ハーネス」（1）の「面ファスナー」（2）を操作し行ってください。
2） 「肩ハーネス」（1）を後方から、乳児の頭の上に対し前へ向けてかぶせてください。「肩ハーネス」（1）の「面ファスナー」（2）を留めてください（図2）。
3） 「大腿支持部」（6）に乳児の大腿部を置いてください（図3）。
4） 乳児を仰向けにしながら、正しく装着できるよう乳児の臀部を装着操作される方の腹部で押さえますと、容易に股関節を90度にすることができます。そうすることで装着する方の両手は自由となり、「肩ハーネス」（1）前面にある「前面ビーズコードロック（白）」（3）にビーズコードの取り付けが容易になります。（図4）。
5） 最初に装具を装着する際に、ビーズコードの設定部分に医師が印をつけることもできます。
印を付ける方法として、ビーズコード端末を一定量（例：2個のビーズ）残しながら、ロック部分からはみ出したビーズコードをカットする方法があります。（図5）。
また他に別の方法として、ビーズコードに赤いペンなどで印を付けることがあります。
6） 最後に、必要な外転位置に調整するため「外転用スライドバー」（8）を調整してください（図6）。「スライドバー調整クランプ」（9）は、調整後の位置を固定します。

<治療経過に伴う再調整方法>

治療内容と乳児の成長過程に基づき、本体の再調整が必要になる場合があります。
調整が必要な場合は、「後面ビーズコードロック（赤）」（4）と「大腿支持部のビーズコードロック（赤）」（7）にて長さ調整をします（赤いロック部分は、容易に外せないよう固い構造になっています図7）。 最初の設定と同様、ビーズコードは両側で均等の長さにします。

注意事項

◆ 多くの乳児は、新しい環境に早く順応しますが、本製品の装着後数日間は神経質になり機嫌が悪くなることもあります。 乳児が長く泣き止まなかったりするようであれば、本製品の使用を直ちに中止し、医師による股関節の診断が必要です。
◆ 本製品の装着は通常、1日当たり約23時間とし、おむつ交換や入浴などのために約1時間程度外します。
◆ 医師は定期的に乳児を診断し、股関節、本体の位置および装着状態について確認します。
◆ 乳児の成長に従い、本体を再調整する必要があります。

お手入れの方法

本製品は耐食性で、水拭きすることができます。「肩ハーネス」（1） のパイルカバーは取り外し、手洗いすることができます。

お問い合わせ窓口：

輸入元： オットーボック・ジャパン株式会
〒108-0023 東京都港区芝浦 4-4-44 横河ビル 8F